2022年9月22日作成

Ver.1.2

降下性壊死性縦隔炎の予後予測因子の検討

1、研究の目的と意義

降下性壊死性縦隔炎とは、口やのどの感染に伴う膿瘍が首の筋肉の間や気管周囲の隙間に沿って下降し、両肺の間の縦隔と呼ばれるスペースに感染を来した状態です。重篤かつ進行の速い感染症のため、早期の診断と治療介入が必要とされるにも関わらず、日本全国でも毎年100例弱しか患者さんがいないため、その治療方針や手術方法には定まったものがないのが現状です。

そこで、当科で治療を受けられた降下性壊死性縦隔炎の患者さんについて情報を収集し、どのような要素が患者さんの回復に寄与しているのか、より良い治療とはどのようなものなのかを明らかにし、降下性壊死性縦隔炎に対する今後の治療方針選択に役立てることを目的とした研究を行います。

2、対象となる患者さん

2000年1月1日から2022年5月31日までに、当科で降下性壊死性縦隔炎に対して手術を受けられた、18歳以上の患者さん。

3、研究の方法

カルテから患者さんの特徴や手術方法・治療内容を抽出し、どのような要素が患者さんの回復により寄与していたのかを統計学的に検討します。

4、研究に用いる情報

本研究はカルテより下記の試料・情報の提供を受けて実施する研究です。

- ・患者さんの背景（性別、年齢、基礎疾患など）
- ・検査結果（血液検査、画像検査など）
- ・治療内容/治療経過（使用した薬剤、人工呼吸管理の有無など）
- ・手術所見（手術時間、手術方法、輸血の有無など）
- ・合併症（治療中に生じた合併症の有無、それに対する治療など）
- ・退院後経過（降下性壊死性縦隔炎の再発の有無、再発日など）

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2028年3月31日

6、外部への情報の提供

該当なし

7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 腫瘍外科 市川宏美

8.お問い合わせ先

長崎大学病院 腫瘍外科 市川宏美

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7304 FAX 095（819）7306

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）